

「わらしべ長者」  
の経済学

# 第一段落

■昔話「わらしべ長者」の一般的理解（一般論）と筆者の解釈（主張）

●昔話「わらしべ長者」

特段の努力をせずにただ道を歩いていただけで、つまらないわらしべが最後には高価な屋敷に化けたという、男の驚くべき幸運

●一般論

「わらしべ長者」は実直な勤労の美德と価値を否定する

## 第二段落

■「わらしべ長者」の経済活動

### ●筆者の主張

少なくとも二度にわたり、無視できない重要な経済活動をしている

人を喜ばせる創造的なアイデアに対価が支払われる

リスクの大きい事業に投資をした

欲している人の元に物を動かす

他人を喜ばすという正当な経済活動を営んだ

## 第三段落

■「わらしべ長者」の経済学的な普遍性

- ・「わらしべ長者」は日本独特の話ではない

経済学的な考え方の普遍性

- ・ブータンで語られる話

宝石↓……↓歌

歌を口ずさみつつ、幸せな顔  
こういう人物こそ、人生で本  
当に大きな利益を得られる